

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
坪井 明彦 先生	おすすめメッセージ
① 図書名：THINK AGAIN 発想を変える、思い込みを手放す 著 者：アダム・グラント 出版社：三笠書房 ISBN：9784837958123	「既存の考えを新たな観点から見つめなおすことがいかに大事であるか、それを伝えるのが本書の目的である。」 知性とは考える・学ぶ能力であると認識されてきましたが、変化の激しい時代を生きるために、考えること・学ぶこと以上に、「考え直す、知識をリセットし、学ぶ能力」が重要になっています。しかし、残念ながら、自分を賢いと思っている人ほど、一度身に着けた知識や価値観をリセットしようとはしません。 本書は、「自分の考えを再考する方法」、「相手に再考を促す方法」、「学び、再考し続ける社会・組織を創造する方法」を示しています。「知っているつもり」がもたらす知的な怠慢に陥らないための指針となるでしょう。
② 図書名：人生の経営戦略 ー自分の人生を自分で考えて生きるための戦略コンセプト 20 著 者：山口周 出版社：ダイヤモンド社 ISBN：9784478119938	本書の目的は「経営戦略論をはじめとした経営学のさまざまな知見を、『個人の人生というプロジェクト』に活用するためのガイドを提供する」というものです。 「マネジメント」には、「思い通りにならないものを、とにかくなんとかする」という意味があります。マネジメントを学ぶことによって、会社の経営だけでなく、自分の人生のやりくりも役立つのです。自分の人生のマネジメントという視点から、経営学のさまざまなコンセプトを学んでみてはいかがでしょうか。
③ 図書名：経済評論家の父から息子への手紙 お金と人生と幸せについて 著 者：山崎元 出版社：Gakken ISBN：9784054069756	本書は、余命3か月とわかった著者から大学に入学した息子に宛てた手紙をもとに、若い人たちに向けたメッセージとして書かれたものです。本書の目的は「子供たちも含めて、読者には、お金を効率よく稼いで、正しく増やし、気持ちよく使ってほしい。そのための、考え方と具体的な方法を伝えること」です。 「お金は、目的ではなく、手段に過ぎない。・・・ただ、お金の稼ぎ方、増やし方で、『不利な側』には回ってほしくない。世間に流されてぼんやり働いていると、『利益を提供する側』に回って損をする。資本主義経済とはそういう仕組みになっている。」 今の資本主義社会で生きる子供が「不利な側」にならないための親としてのメッセージです。大学生の皆さんにとって、非常に参考になる考え方や方法が述べられています。